



「ゼロカーボンシティあつま」宣言

～2050年二酸化炭素排出量ゼロを目指して～

近年、地球温暖化の影響による異常気象によって甚大な気象災害が多発し、私たちの日常における安全・安心な生活が脅かされる事態に直面しています。

この地球温暖化には、世界規模での対策が求められており、我が国においても2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルの実現を掲げ、国を挙げて脱炭素社会の取り組みを進めています。

このような中、北海道胆振東部地震の被災地である厚真町では、利用可能な自然資本を活用した太陽光・木質バイオマス発電施設整備による「防災力の強化」、「公共施設群の再生可能エネルギー活用」、「排熱利用による産業創出」を一体的に進めるエネルギー地産地消事業や、被災森林の再生と森林管理による二酸化炭素吸収源の確保などの取り組みをすでに実施しています。

今後、公共・民間を挙げてのさらなる脱炭素の取り組みにより、持続可能な地域づくりを実現するため、2050年二酸化炭素排出量ゼロに挑戦することをここに宣言します。

令和4年4月6日

厚真町長 宮坂 尚市朗